

市民活動センター たちかわ通信

市民活動センターたち
かわは、ボランティアやN
PO・地域活動などあら
ゆる市民活動をサポート
するセンターです。

編集・発行

2004.1 Vol.10

社会福祉法人 立川市社会福祉協議会・市民活動センターたちかわ

〒190-0013 立川市富士見町2-36-47 Tel.042-529-8323 Fax.042-529-8714

E mail aiaivc@whi.m-net.ne.jp

URL <http://act.annex-tachikawa.com> (登録団体募集中です！)

開所日・時間

(月)～(金) 8:30～19:00 (土) 8:30～17:15

日・祝日はお休みです

年末年始お休みのご案内 - 活動センターは12月28日(日)より1月4日(日)までお休みをいただきますのでご確認ください。

特集～ふれあいまーけっとより～

まちなかのちいさな公園で何やら人々が・・

11月29日(土)。立川駅から徒歩5分、住宅街や商業ビルの中にある小さな公園で・・。雨に打たれながら、「せえ～のっ！」と声を張り上げテントを設営している人たち。通りかかった近所のおじさん。「何かあるの?」「明日ここで行くふれあいまーけっとの準備してるんです。いろいろなお国自慢の料理やパザーをやるので、ぜひ来てください!」

11月30日(日)ふれあいまーけっと当日。小さな公園だから、はじからはじめまでみんなの顔がよく見える。快晴のイベント日和とはいかなかったが、にぎやかな地元東部会自治会のおはやしや中南米の民族音楽の音と各国料理の匂いやお買い得品一杯のパザーの活気に誘われ、いろいろな人が公園に足を運んでくれた。



11年前のある日の出来事

今から11年前、この柴崎中央公園のすぐ近くのビルにあったY M C A事務所に一人の外国人の方が飛び込

今月のもくじと読みどころ

注目は・・・ページ

「運営実務あれこれ講座」

P 2・・・「特集のつづき」

P 3・・・「まちネタ ひとネタ」養護学校でクリスマス会

P 4・・・「イベント・講習・講座情報」

P 5・・・「イベント・講習・講座情報」

P 6・・・「ひと・モノ・募集、助成金情報」

海外支援とゆめ応援ファンド

P 7・・・「市民活動センターより・・・」

NPO法人・非営利団体のための運営実務あれこれ講座」

P 8・・・「市民活動センターより」

んだ。「生活に困っている。なんとか助けてほしい」。世界各地にあるボランティア団体の看板を見かけてのことだった。ボランティア団体や市民が出来ることはなんだろう・・それは「国籍や生活背景を問わず、一緒に何かを始めること。お互いを知ること。まずはそこから」。こうして「ふれあいまーけっと」はスタートした。

P 2へつづく

情報をお寄せください! みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

「国籍や生活背景を問わず、一緒に何かを始めること。

お互いを知ること。まずはそこから」～ふれあいまーけっとより

11回の回を重ねている その訳は

春から月1回のペースで、参加団体が顔を合わせ「今回のふれあいまーけっとはどうしよう、こうしよう」と始まる。10年の歳月を経る中で、関わる人たちの顔ぶれも変化してきた。仲間うちで始めたことが、毎年、広がっていき「在日外国人と地域の人の交流の場」に賛同する人たちがぼつぼつと加わっていった。今年も「NPO法人たちかわ多文化共生センター」と地元商店街「ハッピータウンしばざき」が新たに参加団体として仲間入りしている。



もちろん当日お客さんとして来場する方々に、このイベントの主旨に触れてもらい、各団体のPRから何かのきっかけを得てもらうことも大事な目的である。しかし、それ以上に、参加団体として関わる人たちが準備

のプロセスの中で、ひとつの目的に向かって、あれこれと意見を交し合い、お互いのことを知り、思いを深めていくことを「ふれあいまーけっと」では大切にしてきた。参加団体はみな同じ立場である。どこかの団体やカリスマ性を帯びただれかさんが、ぐいぐい引っ張っていく運営方法はとっていない。何か課題が生じれば、その場にいる人たちで知恵を出し合い解決してきた。「ふれあいまーけっと」当日までの作業も時系列でシートにし、毎回、誰が担当してもいいようにしている。迷った時には声をかけ合う、ヘルプを求める。そんなシンプルなことでなんとかなってしまうものだ。だってお互いの顔が見えるのだから。

11年前の「国籍や生活背景を問わず、一緒に何かを始めること。お互いを知ること。まずはそこから」。言葉の意味は今なお重い。戦争やテロは私たちの生活と隣り合わせだ。世界を包む不穏な何かに絶望感をどうしてもぬぐえない時がある。

でも、でも、でも・私たちが市民として暮らしに根付いてできること。ひとつひとつ丁寧にできること。「ふれあいまーけっと」にはそのヒントが散りばめられている。

では、参加団体のいくつかに突撃インタビュー

どうして「ふれあいまーけっと」に参加しているんですか？

「ふれあいまーけっと」に参加してみて変わったことってありますか？

西東京朝鮮第一初中級学校 >

学校が1946年から立川市錦町4丁目にある。地域に開かれた学校として地域の人たちと関わるひとつの機会。

いろいろな団体と知り合えた。輪が広がっていく。朝鮮学校に対して理解されていく。

東京YMCA西東京コミュニティセンター >

スタート時（前述の通り）からの関わりを大切にしているから。

「地域に根ざすことからやっぺいこう」という団体のミッションを実感している。

たちかわ多文化共生センター（TMC） >

TMCの存在を知ってもらいたかった。まだ新しい団体なのでPRとネットワークづくり、情報交換の場はすごく貴重。

他の団体の取り組みも知り、もっと何かしたいという思いを強めた。TMCの会員自身のコミュニケーションもこのイベントに参加するプロセスで深まった。活動の幅が広がることを予感している。

参加している団体の顔ぶれ

日本ネパール友好協会 > 日本とネパールとの間の掛け橋として交流すると同時に、ネパールの恵まれない子どもたちのために学校を作ったり社会教育を進めている。

読者のみなさんへひとことPR：一人でも多くの方のご理解・ご協力を頂ければ大変ありがたいと思います。

どうぞよろしくお願ひいたします。

福生学園 > 知的障害者の方々が入所されて日常生活に必要な訓練をしています。読者のみなさんへひとことPR：多摩地区での包括的な福祉サービスの提供を目指しています。ご質問、ご相談などございましたら、いつでもお問い合わせください。

情報をお寄せください！ みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

スパイスタラ>お祭りや個人宅ヘインド・東南アジアなどのエスニック料理を出張。読者のみなさんへひとことPR:呼ばればどこへでも行きます。ご希望により講習会、スパイスセットの販売もしています。

立川国際友好協会>外国の方の日常生活が円滑になることを願い「日本語を教える」ことを通じて国際交流をしています。読者のみなさんへひとことPR:教える方にも学ぶ方にも開かれた団体です。

在日本大韓国民団西東京地方本部>在日の韓国人、朝鮮人に対して権利などを擁護する団体です。北朝鮮脱北者の日本社会定住を支援しています。読者のみなさんへひとことPR:日本と朝鮮半島の人々は、ルーツを同じにしています。共存共栄のため、共に協力してよい社会を作っていきます。

立川高等保育学院OB・OG>平成13年3月に廃校になった母校の名前を残そうと、毎年参加しています。メンバーは保育士としてそれぞれ働いています。読者のみなさんへひとことPR:ふれあいまーけっとで楽しいこ

とやっています！

その他にも・多摩中南米文化同好会、関東トレーディング、からし種工房、大日本物好交響楽団、ぴい〜めでいちん・たま、同胞生活ネットワーク、カナンの園、市民活動センターたちかわという顔ぶれで今回のふれあいまーけっとは進められました。



各団体の連絡先は、市民活動センターたちかわにお問い合わせを！
(えだ)

まちネタ ひとネタ

……養護学校でクリスマス会

このコーナーでは、このまちのあれこれについてネタを提供します。
まちの中にはけっこういろんな出来事がある。

養護学校でクリスマス会

12月はあちこちで忘年会やらクリスマスの季節ですが、格別のクリスマス会が立川養護学校で開かれました。これは「ピユア(立川五日制地域活動の会)」が数年前から開催している取り組みです。「ピユア」は立川養護学校に市内から通う子どもたちの、余暇活動を作っている保護者の会で、主に養護学校を拠点にしています。ご存知の方も多いと思いますが、その立川養護学校は平成16年春に府中市への移転が決まっています。通っている子ども達はこれからも立川で成長していくので、活動の拠点を地域に移すことを考えなければなりません、それには地域の懐の深さが必要な時代でもあります。身体などに障害のある子も無い子も地域で同じように豊かな子ども時代を保障するには、どうしたらよいのでしょうか。安全やら責任やらのことを考えると、具体的な取り組みは躊躇することが多いのも事実です。

そこで昨年ピユアの役員さんと相談し、養護学校の地元である東羽衣町会会長小畑富佐雄さんにクリスマス会を一緒に出来ないか、とりあえず検討して頂く事になりました。

「福祉教育」の要らない街？

養護学校の生徒と地域と一緒にイベントをするなんて、あまりすんなりとは実現しないだろうなあ、と不安でしたが、実際に何人かと打ち合わせをする



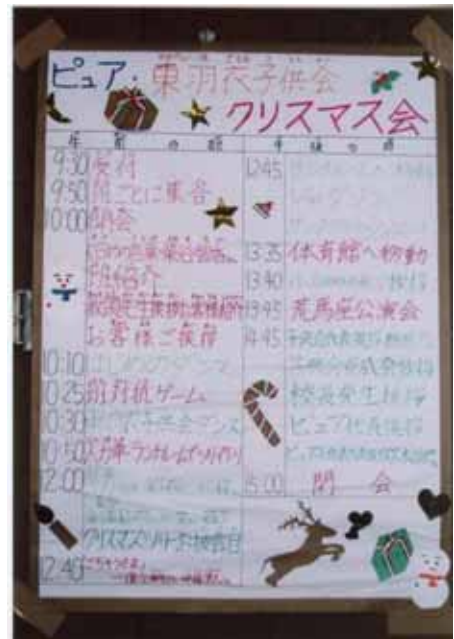
クリスマスで無病息災

と、地域の方の多く(大人も子どもも)が養護学校や生徒たちを自然に受け止めている

様子が良く分かりました。特に忘れられないのは「養護学校の子が帰り道に突然家の中に入ってくることもあったのよお！アハハハハ・・・」という台詞。「人間がデカイなあ」と感動している間に、子ども会さんのご協力・奮闘も得られクリスマス会は開かれる運びとなりました。今年に到っては商店街のご協力まで加わり、一層賑やかさを増しました。

子どもの居場所作りはこれから

こんな地域があったことに気づかなかったとは、恥ずかしい気もします。ですが、地域、ピユア、ボランティアの皆さんには、これからの子どもの居場所作りを考



これがプログラム

情報コーナー

～ イベント・講習・講座・ボランティア情報など～

ここに掲載されている情報の詳細に関しては、直接主催団体にお問い合わせください。

このコーナーは、市民活動やボランティア活動に関するイベント等の情報を毎月掲載しています。またこのコーナーへ掲載する情報も随時募集しています。掲載ご希望の方は毎月20日までにご連絡ください。

イベント・講習・講座

講演会 かんがえよう！多摩の 대기

～自動車使用に関する東京ルールができて4年。～

今回の講演会では、行政への期待を確実なものにしていくと共に、環境を少しでも汚さず私たちが地域でどう「NOディーゼル」を応援できるかを考えていきたいと思えます。

日時：平成16年1月8日(木) 13:30 - 16:00

場所：多摩消費生活センター 教室

講師：東京都環境局自動車公害対策部計画課

計画係長 山本 宗一 氏

お申込み・問合せ：多摩の暮らしを考える

コンシューマーズ・ネットワーク事務局

電話：03-3383-7991 FAX：03-3383-7840(上野・平井)

障害のある人の「さべつ」って？

「けんり」って？

障害のある人の「差別」や「権利」とは何か、最新情報を大熊由紀子さんにお話いただき、後半のシンポジウムでは市内在住の障害者当事者数名とディスカッションする予定です。

日時：平成16年1月12日(月・祝) 13:30 - 16:30

場所：女性総合センターアイム ホール

講師：大熊由紀子氏 (大阪大学院人間科学研究科教授・厚生労働省障害者(児)の地域生活支援のあり方に関する検討委員 他)

定員：196名(入場無料)

問合せ・申込み：(1月8日(木)まで)

立川市障害福祉課

電話042-529-7100 FAX042-529-8676

メール tc-sogo1@whi.m-net.ne.jp

NPO法人 自立生活センター・立川

電話042-525-0879 FAX042-521-3134

メール cilt@sh.rim.or.jp

痴ほうもこわくない！？

～痴ほうの理解と治療・介護～

誰もが抱く痴ほうへの不安について、正しい理解と適切な治療や介護を経験豊富な専門医の講義を通

して学びます。今回の教室では特に「痴ほうの発症の予防」、「痴ほう発症後の初期対応の重要性」、「痴ほうの治療」、「痴ほうの介護」等について具体的に学びます。質疑応答の時間も設けておりますので、具体的なアドバイスを伺ってみたいという方々は是非ご参加下さい！

日時：平成16年1月16日(金) 10:00 - 12:00

場所：羽衣ワークセンター学習室

(立川市羽衣地域福祉サービスセンター2F)

講師：鈴木義徳医師 (桜ヶ丘記念病院 シルバー外来)

対象：痴ほうに関心がある方ならどなたでも。

お申込み・問合せ：(無料・定員30名)

立川市羽衣在宅介護支援センター

立川市羽衣町1-12-18(立川市羽衣地域福祉サービスセンター内)

電話042-523-5612 FAX 042-523-5613(担当:原・長畑)

2004年 新春 パソコン教室

今年はパソコンを是非覚えたい、頑張ろうと思っているあなたに！熟年の方々大歓迎！片麻痺の方々に！メールでの出会いがあります。チャレンジしてみませんか？

日時：平成16年1月21日(水)～2月25日(水)全6回

13:00 - 15:00

場所：立川市総合福祉センター 2階

費用：1,500円(テキスト代・資料代)

筆記用具をご持参ください。

問合せ・申込み：NPO法人 片麻痺ネットワーク

電話 042-344-4033 (事務局：田淵)

メール tabuti_y@za2.so-net.ne.jp

エコグッズ作りと

巨大ショッピングモール探検

環境にやさしい身近なグッズの制作や、見学会を通して楽しく環境について学びます。

日程：講義...平成16年1月24日・2月7日・3月13日

10:00 - 12:00 (最終日は13:00まで)

見学会...3月6日(土)9:20 - 16:15

情報をお寄せください！ みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

場所：砂川公民館

対象：小学校3年生から6年生と保護者(子どもだけ可)

定員：25名(申込順・12/15より受付)

講師：東京都環境学習リーダー 山岸修子氏 檜山泰子氏
横幕玲子氏 入間市博物館 主幹 工藤宏氏

内容：

日程	内容	参加費
1月24日	刈込作業、アクリルたわし作り	100円
2月 7日	石鹸を作ろう！水を汚したのは誰だ！	100円
3月 6日	ザ・モル瑞穂・入間市博物館見学	未定
3月13日	エコクッキングに挑戦	未定

お申込み：立川市砂川公民館 電話 042-535-5939

教室の中の気になる子どもたち！

～東京都における特別支援教育について()～

この子ちょっと他の子と違う？戸惑いながら、接しておられる先生、親御さんはいらっしゃいませんか？外見からは持っている困難さが分かりにくい子供たちについての理解を深めましょう！

日時：平成16年1月24日(土) 14:00 - 16:30

場所：南大沢文化会館主ホール(八王子市南大沢2-27)

講師：上野 一彦(東京学芸大学副学長、日本LD学会会長)
半澤 嘉博(東京都教育庁指導部 主任指導主事
特別支援教育担当)

定員：500名 資料代：500円

お申込み・問合せ：

往復はがきか電子メールで 氏名 住所 電話番号・メールアドレス 所属を明記しお申込み下さい。ご質問がある方は、併せてお知らせ下さい。

・往復はがき：

〒192-0907 八王子市長沼町960 新堀方

・電子メール：tokyold@mcn.ne.jp

問合せ：電話 0426-37-1451

参考：東京LD親の会連絡会

<http://www.ne.jp/asahi/tokyo/ld/>

シルバーのための応急手当講習会

高齢者の方に安全で快適に生活していただくため高齢者の方に多い事象事例を紹介します。また、ケガをしてしまった時や急病になった時にあわないため、対処方法の実技指導も行っています。体験してみませんか？

日時：平成16年1月31日(土) 10:00 - 12:00

場所：立川防災館

対象：65歳以上の高齢者または高齢者と一緒にお住まいの方など

定員：30名(無料)要予約

お申込み：立川防災館 電話 042-521-1119

昭和記念公園で冬芽観察と

バードウォッチング

立川かんきょう市民の会は、「君の感じる心は元気かな」第4回イベント「昭和記念公園で冬芽の観察とバードウォッチング」をおこないます。

内容：春の芽吹きを準備している木々の様子を観察します。

バードサンクチュアリングに姿を見せた鳥の観察と解説

ネイチャーゲーム

期日：平成16年1月31日(土) 9:30 - 12:00

場所：昭和記念公園

集合：昭和記念公園 西立川口 9:30

費用：保険料30円、入園料は各自ご負担ください。

持ち物：筆記用具、手袋、防寒対策をしてきてください

参加対象者：立川市内居住の方で小学生親子、

こどもエコクラブ員 一般30人

申し込み：参加希望者は住所、氏名、電話番号を明記し次のところへ電話またはFAXで申し込んでください。高橋由蔵(042-535-2719)

市民活動センター

たちかわ

登録グループ紹介BOOK

のご案内



「市民活動センターたちかわ」に登録しているグループの活動を広くみなさまに紹介するための冊子を今年も販売しております。

販売価格は一冊300円。市民活動センター他、公民館や児童館などに閲覧用にあります。立川市を中心とした様々な分野の団体が掲載されています。何か活動をはじめたいときは参考にしてみたいはいかがでしょうか？

なお、「私たちの活動も紹介したい」というグループも大歓迎です。機材が安く使えたり、貸し室の優先予約も可能です。

またあわせて立川市内のボランティア受け入れ施設を紹介している「ボラえもん」も販売中です。

ご希望の方は市民活動センターたちかわまでお問合せください。



情報をお寄せください！ みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

ひと・モノ・募集

海外に届ける支援物資と

ボランティア募集!

市民レベルの国際交流・国際協力を行っているNGOピースボートでは、下記の支援物資を募集しています。船旅を「つくる」ボランティアスタッフも募集しています。

【筆記道具】鉛筆・ノート・ボールペン・色鉛筆・クレヨン・クーピーなど新品または新品に近いもの。

【パソコンおよびその周辺機器】パソコン本体は、DOS/V対応機でCPUが133MHz以上、メモリ16MB以上、HDDは1GB以上を搭載しているもの。

【書き損じハガキ】未使用の書き損じ官製ハガキ

【ボランティアスタッフ募集】広報活動や事務作業、船内企画の立案・準備、寄港地でのプログラム作りなど他、各地へ支援物資を届けるといった活動も。

送付期限 2004年6月30日(月)

物資送付の際のお願い

支援物資を現地に届けるためには、多額の費用が掛かります。1箱当たり1,000円程の物資送付金(募金)を頂けると助かります。郵便振替にて、通信欄に「物資送付金」と、お書きください。なお、募金のみでも結構です。

口座番号: 00180-6-705651 口座名: ピースボートUPA
支援物資送付先・お問合せ先(送付期間H16.6.30)
〒169-0033東京都新宿区高田馬場3-13-1/丸ビルB1
ピースボートUPA国際協力プロジェクト
TEL: 03-3362-6307 FAX: 03-3362-6309
E-mail: aid@peaceboat.gr.jp
URL: <http://www.peaceboat.org>

囲碁の対戦相手募集!

立川市栄町にお住まいの70代の男性(1級程度の腕前)が囲碁の対戦相手を募集しています。ご本人のご自宅にて月一回程度でも対戦をしていただける方は下記までご連絡をください。

募集人数 3名程度

申し込み・お問い合わせ

市民活動センターたちかわ(伊藤)

電話 042-529-8323

FAX 042-529-8714

助成金情報

平成16年度民間海外援助活動助成募集

民間団体(個人も含)による開発途上国における住民の生活向上のための開発援助事業に対し、助成金を交付します。

対象事業

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| (1) 農漁村開発 | (2) 教育・人材育成 |
| (3) 保健衛生・医療 | (4) 生活環境改善 |
| (5) 地域産業振興 | (6) 環境保全 |
| (7) 社会的弱者保護 | |
| (8) 上記の(1)~(7)のいずれかに係る調査研究または | |

広報啓発。

人々がエンパワーメントされるように配慮がなされていることを重視します。

申請有資格団体:

民間の公益又は非営利の団体。開発途上国における援助事業を主たる事業目的としていること。日本国内に住所または事務所を置き、責任の所在が明確であること。対象事業を推進するうえで、十分な管理能力を有すると認められること。政治、宗教活動を主たる目的とする団体ではないこと。

助成額: 成金額は、原則として事業総経費の80%以内とし、その最高額は500万円とする。また、当該年度においてひとつの団体が受けることができる助成は、原則として1事業とします。

助成対象期間:

平成16年度(平成16年4月1日~平成17年3月31日)に実施する事業

応募受付: 平成15年12月1日(月)~平成16年1月23日(金)(必着 17:00まで)

ホームページ上に民間海外援助活動助成の申請にあたってこれまで多く寄せられた問い合わせを中心にまとめています。是非ご一読ください。

主催・問合せ・申込み先:

財団法人 国際開発救援財団(担当: 角・中島)

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-17-8-2F

TEL: 03-5386-0541 FAX: 03-5386-0542

E-mail: josei@fidr.or.jp <http://www.fidr.or.jp/>

ゆめ応援ファンド 助成募集要項

地域住民や民間団体のボランティア・市民活動に対し必要な資金の助成を行います。

応募資格: ボランティア・市民活動団体、ボランティア・市民活動を推進している民間非営利団体

助成額: 1件につき、原則として100万円以内。

応募受付期間

2003年12月16日(火)~2004年1月31日(土)18時

必着・締切厳守

要項請求および応募・問合せ先

東京ボランティア・市民活動センター【基金助成係】

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1

(セントラルプラザ10F)

TEL 03-3235-1171 / FAX 03-3235-0050

ホームページURL:

<http://www.tvac.or.jp/>

情報をお寄せください! みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

NPO法人・非営利団体のための

運営実務あれこれ講座

NPO法人の立ち上げを考えているんだけど、法人格をとったらどんな実務があるんだろう・・・
法人を設立して間もないんだけど、会計などの事務手続きにとまどっている・・・
こんな方はぜひご活用ください。

NPO法人だけではなくボランティアグループや市民活動団体などで
グループ運営をしている方の参加も歓迎します。

- 1月14日(水)NPOガイダンス 講師:市民活動センターたちかわ スタッフ
「NPOって何?」「私たちの団体はNPO法人化した方がいいの?」「法人化のための手続きは?」毎月定例で行っているガイダンスです。
- 1月20日(火)定款のつくり方 講師:東京ボランティア・市民活動センター 熊谷紀良さん 池澤良子さん
団体の運営の柱になる定款は、認証手続きのためにも作成は必須ですが、その後の運営にも大きく影響する大切なものです。
作成上のポイントをお伝えします。
- 1月22日(木)NPO法人と会計 講師:税理士 野村竹志さん
団体を運営する上で、生じてくるお金の管理と情報公開のための手続きをお伝えします。
会計業務に携わったことのない方向けの基本講座です。
- 1月27日(火)NPO法人と税務 講師:税理士 野村竹志さん
NPO法人になるとどんな税金がかかり、どんな実務と手続きが必要なのかをお伝えします。
- 1月29日(木)NPO法人と労務 講師:社会保険労務士 井嶋栄治さん
NPO法人が有給スタッフを雇用する場合の労働条件やおのずと生じてくる社会保険についてお伝えします。

時間	いずれも19:00～21:00
会場	立川市女性総合センターAIM 5階 第2学習室 - 第3学習室
対象	・NPO法人格の取得を検討している市民活動団体 ・NPO法人格の取得後1年未満の団体 ・非営利団体活動者、行政スタッフ、ボランティア・市民活動センタースタッフ、NPO活動に関心のある方
定員	35名 - 50名
参加費	無料 - 1講座500円

お気軽に
ご参加ください



徒然トピックス 有償とボランティアのことば?

15年ほど前でしょうか。「有償ボランティア」という言葉の議論がありました。無償性が謳われている「ボランティア」に「有償」という相対する言葉をつけることで混乱があったので、今では「有償サービス」と「ボランティア」を使わないことでこの議論は終了したと思っていました。しかし少し前に「ぼらバイト(ボランティア+アルバイトの造語)」なんて言葉も生まれたり・・・どうも「ボランティア」とつけることで安上がりには仕事をさせる側(恣意的でないとしても)が、活動する側に対して、活動をあたかも善行(あるいは美談)であると押し付ける気がします。そもそも「有償」なんてつける発想が「ボランティア」の位置づけをおかしくしてしまう気がします。ボランティアを受け入れる側の主張として聞かれる事に、支払いをすることで「ボランティア」と対等になるという主張をされる方がいらっしゃいますが、そもそも「ボランティア」は何かをしてくれる方ではなく、何かしたい方ですし、もともと対等だと思のですが、みなさまはどう思われますか? (し)

情報をお寄せください! みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

『市民活動センター たちかわ通信』を常設しているところ(下記の場所で受け取ることができます)

立川市社会福祉協議会・市内各公民館・図書館・福祉会館・学習等共用施設
フレンド書房・セイフー立川若葉店・モスバーガー立川高松町店・ローソン若葉町一丁目店
トヨタ西東京カローラ立川富士見町店・東京ボランティア・市民活動センター

* * 配布部数には限りがございますので、ご注意ください! * *
* * 「通信を店舗においてもいいよ!」というお申し出を心よりお待ちしております * *

一部地域に新聞折込をさせていただいてます

Y C 読売新聞立川北部サービスセンターの皆様のご好意により、
読売新聞をご購読の方は折込にて配布されます。(栄町・高松町・曙町の一部)

そのほか『市民活動センター・たちかわ通信』を読むには・

直接送付を希望! >> 1ヶ月100円(通信紙代・郵送代含む)にてご自宅まで郵送いたします。
インターネットで見ると! >> 市民活動センターたちかわのホームページよりご覧いただけます。
インターネットの接続環境がある方はURL <http://act.annex-tachikawa.com> よりどうぞ。
登録団体となる! >> 登録グループには無料にて5部を上限として郵送させていただきます。

会議にイベントに・
是非ご利用ください!



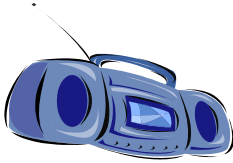
貸し出しスペースについて

- ・ボランティアルームふじみ(立川市総合福祉センター内)
- ・ボランティアルームしばざき(立川市シルバー人材センター内)
- ・事務所前のスペース(活動センター前・無線でインターネットがご使用になれます。)

申し込み方法

事前にお電話か来所にてお申込みください。先着順とさせていただきます。
(登録グループは優先予約あり)

備品の貸し出しについて



貸し出し機材について

A1 拡大コピー機が好評です。パソコンでの入力も可能です。
印刷機の大量使用は必ず事前にご予約ください。

そのほかの貸し出し物品については利用案内・ホームページを御覧ください。

申し込み方法

事前にお電話か来所にてお申込みください。先着順とさせていただきます。

保険の加入について



「ボランティア保険」「行事保険」受付しています。

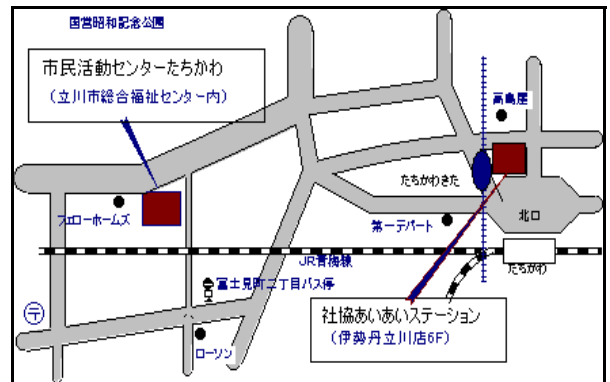
個人で加入するボランティア保険や、行事主催者が加入する保険についての受付を行っております。保険料や各プランなど詳細はお問い合わせください。

申し込み方法

行事保険の保険料については行事の開催前に、郵便局での振込が必要となります。振込用紙をお渡しいたしますので事前にご来所下さい。

編集後記

「ゆめ応援ファンド」という助成金の募集要項がセンターに届きました。いいネーミングと思ながらも、昨年落選されたところある団体が思い出されます。「ゆめ」は簡単に手に入らないのかもしれないですね。比較的小さなゆめであれば当センターの助成事業もあります。2003年は市民の方にご協力をいただきながら当センターの助成事業などの見直しを行っています。貴重なみなさまからの会費・寄付金が、市民活動の発展につながるようなものになるよう、2004年もみなさまと一緒に精一杯取り組んでいきたいと思っています。ぜひあなたの夢もお聞かせください。本年もなにとぞよろしく願いいたします。(し)



交通アクセス: JR立川北口駅より徒歩15分、JR西立川駅より徒歩8分。北口バス停 乗り場、富士見町2丁目下車徒歩4分。女性総合センターアイム発くるりんバス南くるりん左回り『総合福祉センター前』下車徒歩0分、無料シャトルバスが立川駅北口バスロータリー交番前より平日の9:50、10:30、11:10、11:50、13:10、13:50、14:30に出ています。

情報をお寄せください! みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください